

## 幕末の戦い、洋上から学ぶ

周防大島とその周辺で行われた四境戦争・大島口の戦い（慶応2、1866年）の戦場を船で巡る学習会が9月8日、大島商船高等専門学校と周防大島文化交流センターの主催で開催されました。県内外から歴史ファン30人が参加。同高専の講師・田口由香さんが、大島丸船上から戦いの模様を解説しました。

周防大島は四境戦争が開始された場所。島は一旦幕府軍に占領されましたが、世良修蔵らの活躍により長州側が奪還、この勝利が明治維新にまで結びつきました。

参加者は「島民が団結して幕府軍を破った様子がわかり、とても良かった」と満足そうでした。

## 中学生の職場体験



やってみたいと思う職業を実際に体験し、将来の目的意識と学習意欲を高めるため、久賀中学校2年生の生徒が職場体験学習を行いました。9月26日と27日の二日間、保育所や商店など久賀地区の事業所が体験を受け入れました。

久賀歴史民俗資料館での仕事を希望した藤永紘己くんは、資料館の受付や清掃、かまどでの炊飯を体験。火のおこし方などを職員に指導してもらいながら熱心に作業をしていました。



## 9月9日・救急の日に訓練

## 地震が起きてもあわてずに！

防災週間にあわせ9月2日、内入自主防災組織（城山恭一本部長）で約90人が参加し、防災避難訓練が行われました。今回は昨年の結成から2回目の訓練。午前9時に地震発生、続いて津波警報の発令という想定で、各家庭では火の元などの安全点検を行い、非常持ち出し袋などを手に同地区の高台にある農村公園へ避難しました。

地震はいつ起こるか分からないだけに、参加者のみなさんは気を引き締めて訓練に臨んでいました。



9月9日、東屋代で大島地区消防団による消防訓練が行われました。三浦・沖浦地区分団と本部分団、東消防署など約100人が参加。積載車とポンプ3台をホースで連結し約500メートル先へ放水しました。

山林火災など困難な現場での消火活動を迅速に行えるよう、団員一人ひとりが真剣に取り組んでいました。

